

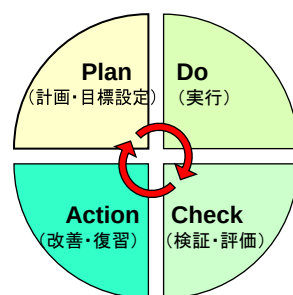
春 告 草

第 135 号 平成 31 年 3 月 6 日 進路指導部発行

1 年間を振り返り、次へ向けて踏み出そう！

学年末試験が終わりました。日頃の勉強の成果は発揮できましたか。今後は一部で短縮授業も行われますが、修了式まで授業は続きます。考査後の期間は 3 学期が終ると思うのではなく、「新学年をスタートさせる」という気持ちで過ごすことが大切です。

それぞれが学年末を迎えるこの時期に 1 年間を振り返り、次年度に向けての目標を設定しましょう。その為にも 16 日に行われる「基礎学力テスト」を現在の自分の立ち位置を客観的に捉える為に活用しましょう。詳細は、各学年から連絡をしますが、しっかりと準備、受験し、以後の Action・改善に役立てることが大切です。



PDCA サイクルは品質管理のための手法だが、学習活動においてもそのノウハウは応用できる

スタディサポート実施に向けて

STEP 1 目標設定・Plan スタディチャージに取り組もう（スタディサポート受験までに）

「スタディサポート活用BOOK」を利用して、生活スタイル、学習法を振り返る

- ・目標設定ワークに取り組み、自分の進路目標をはっきりと意識し、次へ向けての計画を立てる
- ・スタディチャージに取り組み、これまでの復習を行う

STEP 2 受験・Do 「学力リサーチ」、「学習状況リサーチ」を受験する（3月16日）

学力リサーチ 国語、数学、英語の基礎学力テストを受験し、基礎・基本のヌケをチェックする

学習状況リサーチ 学習習慣や進路・生活についての考え方、行動を振り返る

STEP 3 振り返り・Check 「個人診断レポート」の診断結果を振り返る（新学期）

個人診断レポートには、学力・学習習慣の診断結果が示されている。次へ向けて舵取りを誤らないためにも、アドバイスを参考にしよう。各教科の弱点や課題が明らかになっているので何をすれば良いのかが分かるはずだ

STEP 4 対策・Action 学力・学習習慣を改善するために必要な対策を立てる（新学期）

個人診断レポートの弱点や成績に合わせたワークとドリルを利用し、学力向上に役立てる。レポートのアドバイスを如何に自分流にアレンジできるか、より自分にフィットしたやり方をしっかり考え、実行することが大切だ。

学習法情報についてのアドバイスを掲載した「Planning BOOK」や活用BOOK「学習力MAP」も参考に！

進路指針を振り返ろう

昨年1学期に配付した進路指針には、大学入試の知識など進路情報が幅広く載せてある。卒業生の体験談もこれから受験を迎える5年生にとっては天の声だろう。

巻末には、「学診テスト目標設定と振り返り」のページが設けてある。今年度行った模試成績を記入するページだが、未記入の分があったら忘れずに記入しておこう。そして結果を振り返り、各回の課題が改善されてきているのかを検証しよう。

次へ向けてしっかりと足場を固めておくためにも、進路指針を読み返して、1年間を振り返っておこう。



国立大 入試解答公表の動き

ー昨年度の入試ミスを受け 3月までに30校

今日3月6日から国立大前期試験の合格発表が行われる。公立大は1日から始まっているが、ともに10日までの間に行われる。

さて、国立大の間で個別試験の解答を早期に公表する動きが広がっているという。読売新聞の報道によれば、国立大82大学にアンケート調査を行ったところ大半は公表するとし、約4割の30大学は合格者が入学する前の3月末までに公表することを検討していると回答した。国立大入試を巡っては、2017年度入試でミスがあり、大阪大と京都大では18年になってから追加合格を出した。このため文部科学省は全大学に解答を原則公表するよう通知していたが、今回の入試解答公表の動きはこれを受けての動きである。

昨年度までは4割が正解非公表

国立大入試の正解・解答例の公表状況は春告草95号に掲載したが、昨年までは国立大の4割が正解等を公表していなかった。従来より、正解・解答例を公表しないことで外部の検証が困難になっていると指摘する意見は多く、昨年は大阪大学でセンター試験直前に前年入試の追加合格者30名、京都大学はセンター試験後に17名の追加合格者を出していた。

「模範解答を目指す受験対策を誘発し、大学が期待する柔軟で多様な思考力に基づく解答を期待できなくなる」(佐賀大)など非公表の理由を説明する大学もあったが、追加合格の知らせを受験から1年後に受け取った受験生の気持ちを慮れば、そうも言うてはいられないだろう。今年は、公表は未定とした東京大や一橋大など5大学を除く74大学が「公表する」と回答した。(鹿屋体育大など3大学は学力検査を課していない)

ホームページで解答公表は44大学

昨年ミスのあった大阪大をはじめ30校は3月までの公表を検討している。

名古屋大学は、情報開示請求をした人に問題と解答を公表していたが、「早い時期に、多くの人に検証してもらいたい」と、今年からは大学ホームページで公表する。ホームページでの公表は名古屋大をはじめ44大学が回答しているが、「大学の指定場所で閲覧」とした大学は26大学、「窓口で配布」とした大学は11大学となっている。

千葉大は学内での閲覧だけを認める方針だが「解答の公表は今回が初めてで、学部ごとに形式を統一するなどのノウハウがないため」としている。「遠隔地の受験生は解答を知るためだけに遠出することになり不公平だ」との意見もあり、将来的にはホームページでの公表に収束していくだろう。

入試問題を知る絶好の機会

解答公表の流れは私大にも及び、既に閲覧可能な大学もある。立教大では2月6日～14日に行われた入試の解答を4～6日後にホームページに載せた。早稲田大は一部の学部の解答を掲載している。法政大は3月中旬にホームページで、慶応義塾大は一部学部を除く9学部で、合格発表2週間以内を目処にホームページで公表する方針だ。

受験期になれば誰でも赤本などで過去問研究はするだろう。4年、5年の受験期以前の段階で志望大の入試問題を見ておくことは大いに意味がある。当然解けないだろうが、構わない。「匂い」を嗅いでおくだけで良いのだ。意識しておくだけで良い。気が付いたら解けるようになっている自分がいるはずだ。

昨年までは

公表 (一部公表を含む) 45校 北海道大、筑波大、 名古屋大、大阪大、 九州大など	非公表 36校 東北大、東京大、 東京工業大、一橋大、 京都大など
--	--

春告草95号より

今年から…

3月まで30校	4月以降38校	時期未定6校
室蘭工業大 東京農工大 名古屋大 大阪大 広島大 など	東北大 千葉大 山梨大 京都大 九州大 など	東京工業大 滋賀医科大 奈良教育大 鳥取大 九州工業大 大分大

過去の入学試験問題	
工学部	
PDF	平成31年度 入学試験問題・解答例 [数学]
PDF	平成30年度 入学試験問題 [数学]
PDF	平成29年度 入学試験問題 [数学]
昼間コースと夜間主コースは同じ問題です。 特別入試の面接内容は公表していません。	
更新年月日：2019年2月26日 作成担当部局：入試戦略課入学試験係	

室蘭工業大は2月25日に行われた試験の問題と解答例を翌日に公表した。(同大学HPより)

模試振り返りは学力アップの必要条件。

4年生、5年生ともに1月記述模試の結果が返却されている。5年生は2月マーク模試の結果も手元にあると思うが、記述模試の結果を振り返っておこう。学年末試験が終わったばかりだが、こういう時こそ、自分に欠けているところを把握し、不足分を補って次の段階へステップアップするには、絶好のチャンスなのだ。各自の個人成績表の内容もあらためて見直しておこう。

4年生

■全体の概況

前回の分析では成績ダウンを指摘したが、今回は3教科とも11月記述より平均点偏差値はアップし、よい状況と言える。総合の平均点偏差値は僅差ではあるが、過去最高である。数学の1ポイントアップは評価できるが、これは前回の下位層の奮起によるもの。度数分布グラフは省略したが、上位層(全国偏差値70以上)は微減である。上位層の更なる頑張りを期待したい。

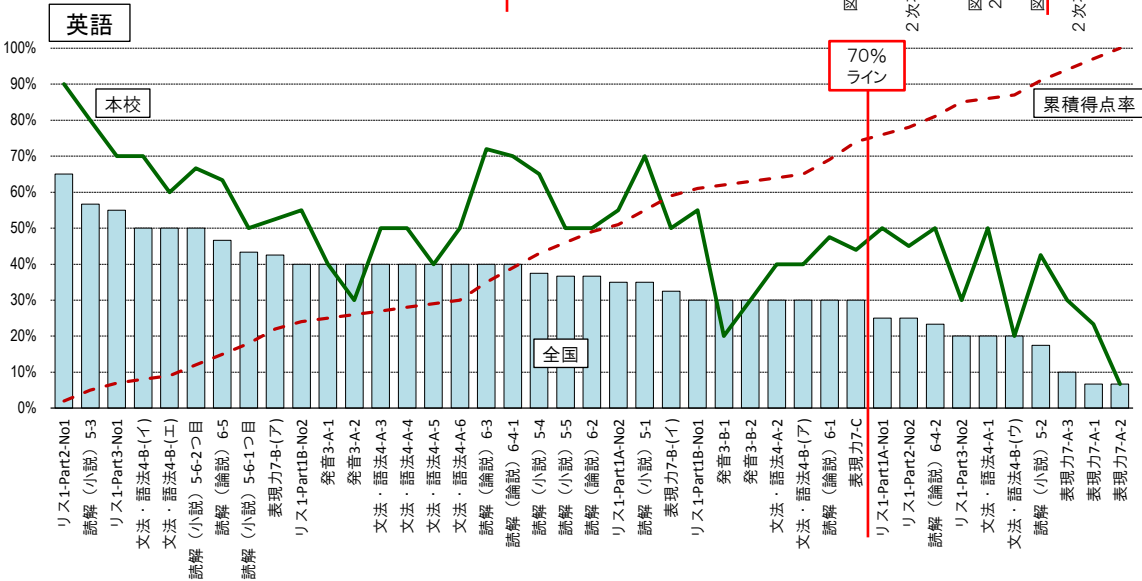
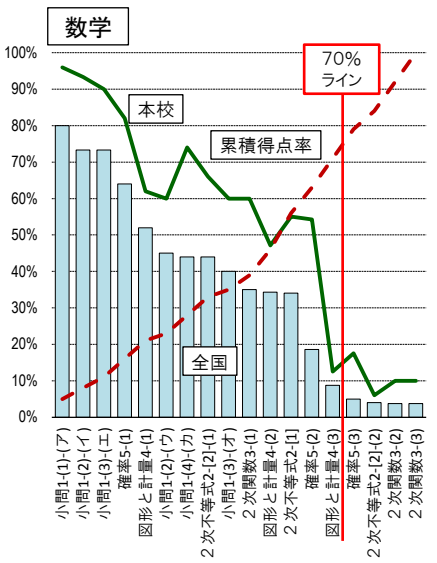
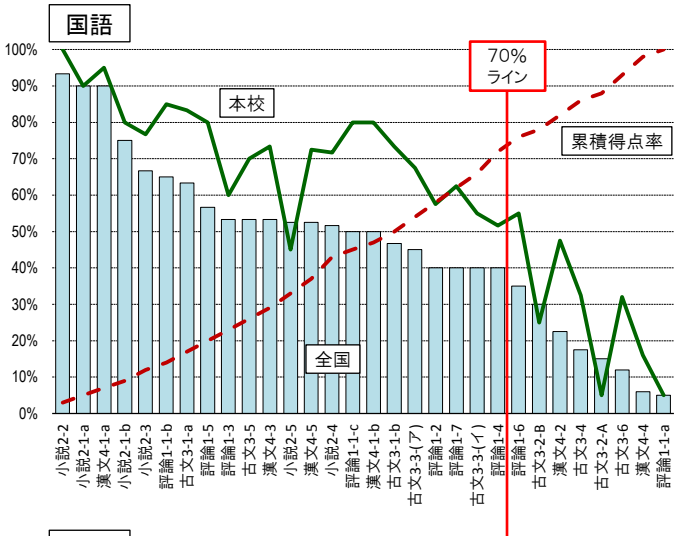
■教科別状況

設問別得点率を下に示した。得点率の高かった設問を左から順に並べてある。得点率70%ラインより左側の設問は難関大合格には必須問題である。自分の答案や成績個人票と照合して、欠けている点は補っておこう。

4年生1月模試成績概況

	総合	国語	数学	英語
平均点	156.7	58.9	46.3	51.5
平均点偏差値	60.6	59.8	58.8	59.3
変動(1月-11月)	0.6	0.7	1.0	0.4

変動は1月模試の平均点偏差値から11月模試の平均点偏差値を引いたものである。



5年生

■全体の概況

4年7月から5年2月までの平均点偏差値(総合)の推移は、
60.5→58.7→60.0→59.0→57.9→59.7→61.4 である。最後はマーク模試で数値が高めに出ているが、1つ前の1月記述も60近い数値で11月記述のダウンから持ち直している状況がある。冬休みの勉強合宿を機に「やる気スイッチ」が入った印象を強く持っているが、その調子を持続することが大切である。また、かねてより課題の多かった英語も今回は2ポイントアップである。頑張ろう！

■教科別状況

設問別得点率は下図のとおりである。図の左側から得点率の高かった設問を並べてある。右側ほど難しかった問題だ。難関大合格を目標とするならば、70%ラインより左側を正解し、ラインより右側にある難問を攻略できる力をつけていかなければいけない。

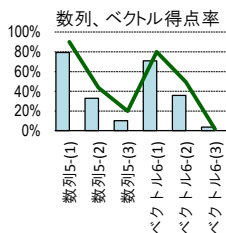
尚、数学選択問題は解答者の多かった微分法、指数・対数の問題を集計した。問5・数列、問6・ベクトルについては右図を参照してください。

5年生1月模試成績概況

	総合	国語	数学	英語
平均点	146.6	44.6	50.0	51.8
平均点偏差値	59.7	58.9	57.3	60.8
変動(1月-11月)	1.8	1.1	1.3	2.1

1月模試より各教科200点満点となったので、上表は換算した点である。総合得点も300点満点に換算した点である。

変動は1月模試の平均点偏差値から11月模試の平均点偏差値を引いたものである。



横軸左から得点率の高かった順に設問を並べてあります。右にいくにつれて得点率が低くなりますが、こういった難しい問題の攻略が難関大合格へつながっていくのですよ！

